

日の出が丘

【学校教育目標】 **本気で学び 思いやりのある子**
 【重点目標】 **日々、前に進む子**



次年度に向かって

校長 井上 雅夫

新型コロナウイルスの対応のため、4、5月は、分散登校。6月から学校再開になり、早いもので、本年度の年間授業日数がすべて終わろうとしています。学校生活でもいろいろな制約がありましたが、子どもたちは、心身ともに、一回りも二回りも大きくなってくれたと思います。

そこには、学校での授業を中心とした働きかけとともに、家庭での毎日の指導や地域の方々の関わりが総合的に影響しています。次年度も、学校と家庭・地域が、子どもたちの成長を願って、さらに力を合わせていけるよう願っています。

また、ここ数年積み上げてきた人権教育・道徳教育の成果が表れ、「子どもたちの自尊感情が高いこと」は、「やる気の源」として大きな力になっていると実感しています。

次年度も授業を核として、聴いたことを基に説明や質問ができる力・友達と関わって解決する力・知ったことを活用し深く探究する力等を付けていきます。同時に、互いの良さを認め合う学校、体を鍛え、命を大切にする学校を目指していきます。

本年度1年間、ご支援とご協力を賜り、ありがとうございました。

●2/26「6年生を送る会」がありました！

今年は、感染症対策として密集を避けるために、各教室で大型テレビや校内放送を活用した「新しい6年生を送る会」が行われました。事前に録画した映像や作成した画像を合成処理し、どの学級でもタイムリーに物語をなぞりながらクイズに参加しました。

子どもたちは、5年生が作った「〇×スティック」を一人一人が手に持ち、クイズの正解・不正解に一喜一憂していました。今年は、全校児童が一堂に会する機会を意図的に作らないようにしているため、全校で何かに取り組むことが少なくなっています。久しぶりの全校一斉という一体感を感じながら、子どもたちは楽しそうに活動していました。

5年生の子どもたちはこの日に向けて、掲示物の作成や当日の準備、そして運営と、大車輪の活躍でした。コロナ禍で思うようにできないことが多い中、工夫とアイデアですてきな6年生を送る会を計画、実行した5年生の子どもたちに、大きな拍手を送りたいと思います。



6年生からおかえしを受けとる1年生。手作りのマスクケースをもらいました。



大型 TV に登場した怪盗レッドとドリームフラワー



夢中で大池小クイズに回答する1年生たち「O！」